HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	Taxonomic studies on oribatid mites of the genera Neoribates, Trichogalumna and Cosmogalumna (Acari: Oribatida: Galumnoidea) in Japan [an abstract of dissertation and a summary of dissertation review]
Author(s)	萩野, 航
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(理学)
Dissertation Number	甲第13140号
Issue Date	2018-03-22
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/70008
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/
Type	doctoral thesis
File Information	Wataru_Hagino_review.pdf, 審査の要旨

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

学 位 論 文 審 査 の 要 旨

博士の専攻分野の名称　博士（理　学）　　氏　名　　萩　野　　航

審査担当者
主　査　　准教授　　柁　原　　宏
副　査　　教　授　　小　亀　一　弘
副　査　　教　授　　高　木　昌　興
副　査　　准教授　　Helena Fortunato

学 位 論 文 題 名

Taxonomic studies on oribatid mites of the genera *Neoribates*, *Trichogalumna* and *Cosmogalumna* (Acari: Oribatida: Galumnoidea) in Japan
（日本産フクロフリソデダニ属, チビゲフリソデダニ属, カザリフリソデダニ属（ダニ目：ササラダニ亜目：フリソデダニ上科）の分類学的研究）

博士学位論文審査等の結果について（報告）

ササラダニはダニ目に属する節足動物の一亜目で、主に森林土壌の腐植相やリター相に生息する体長 0.2～1.5 mm の微小な節足動物である。ササラダニ類は世界中に広く分布し、これまでに 163 科 1269 属 1 万種以上が記載されており、ダニ目の中でも非常に種数が豊富なグループである。一般に害虫として広く知られている他のダニ類とは全く異なり、土壌中で自由生活を営んでいるササラダニ類は、森林土壌において最も個体数の多い節足動物の一つとして知られ、森林土壌の分解者として重要な役割を担っていると考えられている。本研究で申請者は、日本におけるササラダニ相の解明を最終目的とし、その第一歩として、フリソデダニ上科に所属している 2 科 3 属（フクロフリソデダニ属、チビゲフリソデダニ属、カザリフリソデダニ属）のササラダニについて分類学的研究を行った。

本研究の結果、全国 14 地点から合計 1200 個体以上のササラダニ類が得られ、その中からフリソデダニ上科に属する 8 種について詳細な記載を行った。そのうち、*Neoribates incisus* Hagino, Shimano and Aoki, 2016、*Trichogalumna boninensis* Hagino, Bayartogtokh and Shimano, 2017、*Trichogalumna ohkuboi* Hagino, Bayartogtokh and Shimano, 2017、*Cosmogalumna centroclathrata* Hagino and Shimano, 2017、*Cosmogalumna kirishimaensis* Hagino and Shimano, 2017 の 5 種は博士課程在籍中に新種として記載を行ったほか、*Trichogalumna imperfecta* Ohkubo, 1984、*Trichogalumna lineata* Ohkubo, 1984、そして *Cosmogalumna ornata* Aoki, 1988 の 3 既知種について詳細な再記載を行った。本研究の過程で複数の新種が見出されたことから、日本におけるササラダニ相は未解明な部分を多く残していると考えられ、さらなる解明を進めていくうえで、本研究で扱った分類群のみならず、他の分類群においても今後同様に研究を行っていく必要があることが示唆された。

これを要するに、著者は、フリソデダニ上科のササラダニ類に関する分類学的な研究に貢献するところ大なるものがあり、北海道大学博士（理学）の学位を授与される資格があるものと認める。